

ドギーバッグの活用に係るアンケート調査結果

<調査方法等>

調査方法	メールや郵送等によりアンケート票を送付
調査対象	ドギーバッグの試行導入に参加した飲食店 22 店舗 (配布数 730 個)
調査期間	令和 7 年 2 月～令和 7 年 4 月
回答数	16 店舗
バッグの使用数/ 配布数	使用 266 個/配布 730 個 (アンケートへの回答があった 16 店舗)

<結果概要>

ドギーバッグの配布により、生ごみの量が減った、少し減ったと回答した店舗は 8 割を超えた。また、ドギーバッグの利用について、利用客の反応も好評、概ね好評のとの回答が 9 割であった。このことから、ドギーバッグが食品ロス削減に対する市民意識向上の契機となっているものと考ええる。

<今後の課題>

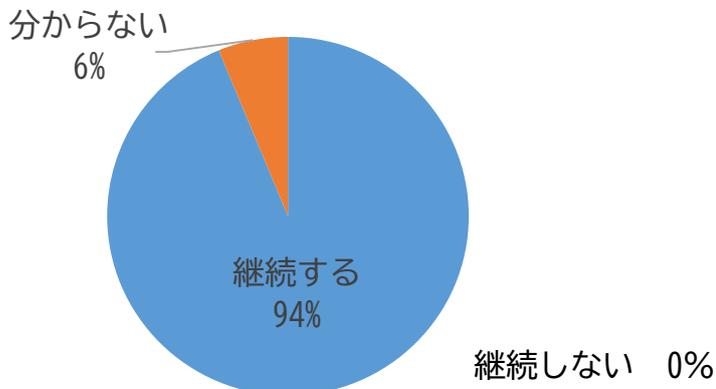
今回のアンケートでは、ドギーバッグの利用について、店舗及び利用客から概ね好評の結果を得ることができた。しかしながら、利用については、店舗から呼びかけることの方が多いため、市民の認知度がまだ十分ではないといえる。今後も意識向上に向けて引き続き啓発品を作成し食品ロス削減事業に取り組んでいく。

<調査結果>

1 ドギーバッグの配布について

(1) 使用数 平均 18 個

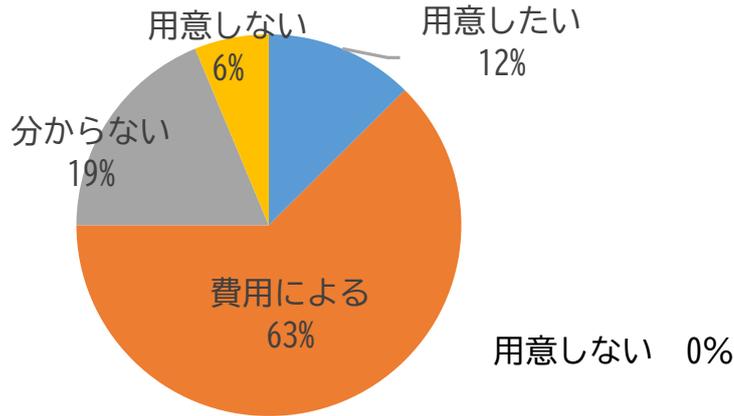
(2) 今後も持ち帰りの運動を継続するか



(参考) ドギーバッグ



(3) 店舗でバッグを用意するか

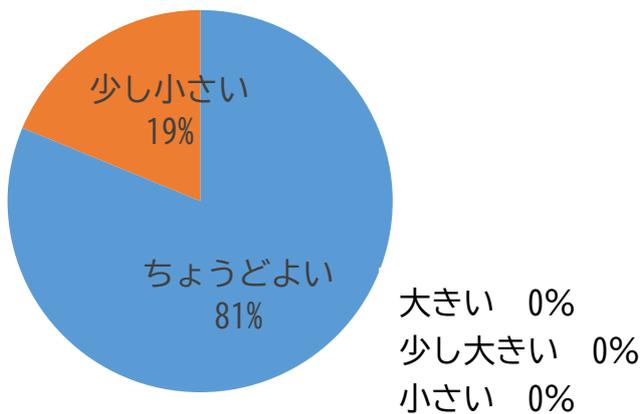


2 ドギーバッグの規格について

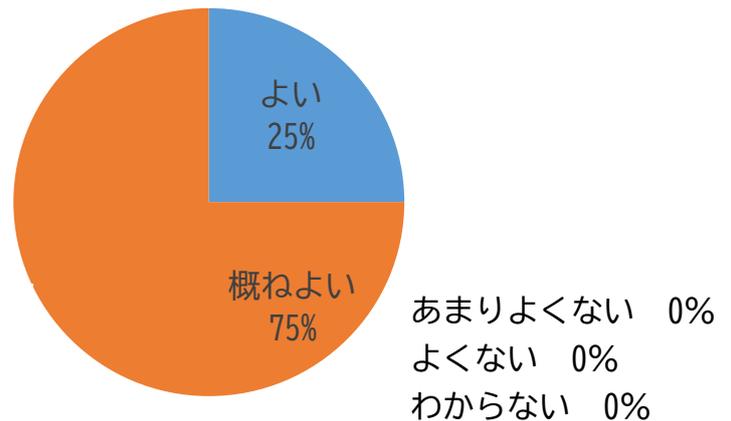
(1) どのような料理の持ち帰りに利用したか

天ぷら・いなりずし、巻きずし、揚げ物、焼き鳥、ザンギ、おにぎり、ピザ、マドレーヌ

(2) 大きさ

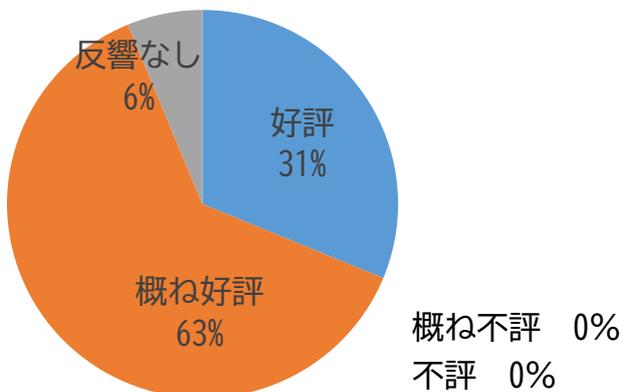


(3) 形状

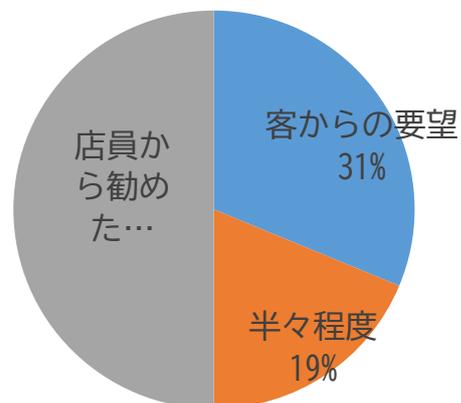


3 ドギーバッグの利用について

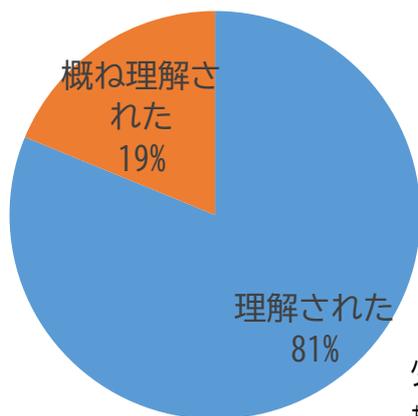
(1) 利用客の反応



(2) 利用の希望

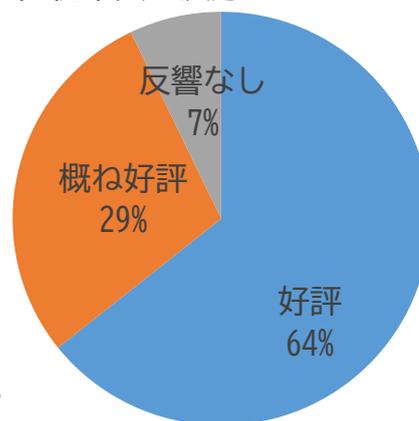


(3) 自己責任への理解



少し理解された 0%
あまり理解されなかった 0%
理解されなかった 0%

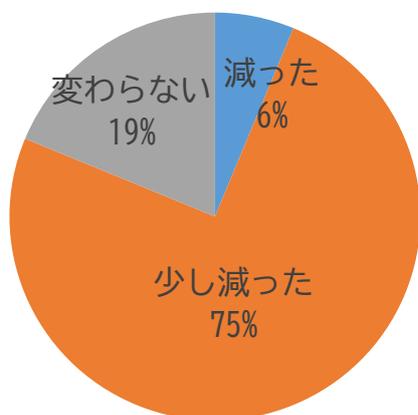
(4) 従業員の反応



概ね不評 0%
不評 0%

4 ドギーバッグの利用効果について

(1) 生ごみの量



少し増えた 0%
増えた 0%

(2) ドギーバッグのどのような点をメリットに感じるか（複数可）

- ・ 食品ロス(生ごみ)の削減 10 店舗
- ・ ごみ処理費用の削減 3 店舗
- ・ 環境によい、社会的意義がある 10 店舗
- ・ 客へのアピールポイントになる 3 店舗
- ・ その他 0 店舗

(3) ドギーバッグのデメリットを感じる点（複数可）

- ・ 食中毒等、衛生面で不安がある 8 店舗
- ・ 用意するのに費用がかかる 4 店舗
- ・ 説明や料理を詰めるのが面倒 0 店舗
- ・ その他 0 店舗

6 その他

(1) 食品ロス削減の周知に必要なと思う啓発品（複数可）

・ポスター	10 店舗
・ステッカー、シール	3 店舗
・卓上ポップ	1 店舗
・その他	0 店舗
・リーフレット	0 店舗

(2) 店舗で実際に行っている食品ロス削減取組

- ・多めに作っておき、余剰分はお持ち帰りしてもらっている
- ・手がかかるがこまめに作っていく
- ・有料で持ち帰り用の箱を用意している
- ・なるべくたくさんの方の仕込みをしない、オーダーが多いと思うときはお知らせする

(3) 今回のドギーバッグについての御意見

- ・食ロスが減っていると感じる
- ・このまま継続してお持ち帰りを定着させることで個々の食品ロス意識を深められると思う
- ・店舗側での PR も大事だが、SNS 等を通じて取り組み内容が広まるとお客様の理解も得やすいと感じた
- ・（ドギーバッグの配布があり）とても助かる
- ・前回よりも箱の形が使いやすくなってよかった
- ・啓発資材については、視覚的に分かりやすいデザインを採用し、家庭向け・飲食店向け・子ども向けなど対象を明確にした情報提供を行うことで、市民が直感的に理解しやすく、実際の行動につながるよう工夫することが重要だと考える
- ・学校では「無理して食べなくても良い」という指導がされている一方で、食品ロス削減の取り組みが推奨されていることに矛盾を感じる子どももいるのではないかという懸念がある。そのため、食品ロス削減には学校との連携も必要であり、単に「無理して食べなくても良い」という指導ではなく、「食べられる量を考えて選ぶこと」や「適切に活用すること」を重視した教育が求められる。学校での指導と食品ロス削減の取り組みが矛盾しないよう子どもたちが混乱せずに理解できる伝え方を工夫することが重要だと考える。

～ドギーバッグの活用に係るアンケート調査票～

店舗名： _____ 担当者： _____
 連絡先： _____ E-mail： _____

<問1 ドギーバッグの配布について >

- (1) 使用数 () 個 使用
- (2) 今後も持ち帰りの運動を継続しますか (最も近いもの1つに○)
 ①継続する ②わからない ③継続しない
③と答えた場合、どのような理由がありますか？
 → ()
- (3) ドギーバッグをお店で用意しようと思いますか (最も近いもの1つに○)
 ①用意したい ②費用による ③わからない ④用意しない

<問2 ドギーバッグの規格について (最も近いもの1つに○) >

- (1) どのような料理の持ち帰りに利用されましたか (自由記載)
 ()
- (2) 大きさ
 ①大きい ②少し大きい ③ちょうどよい ④少し小さい ⑤小さい
- (3) 形状
 ①よい ②概ねよい ③あまりよくない ④よくない ⑤わからない
③、④と答えた場合、どのような形状だと利用しやすいですか？
 → ()

<問3 ドギーバッグの利用について (最も近いもの1つに○) >

- (1) 利用客の反応
 ①好評 ②概ね好評 ③反響なし ④概ね不評 ⑤不評
- (2) 利用の希望
 ①客から要望があった ②半々程度 ③店員から利用を勧めた
- (3) 自己責任での持ち帰りについての利用客の理解
 ①理解された ②概ね理解された ③少し理解された
 ④あまり理解されなかった ⑤理解されなかった
- (4) 従業員の反応
 ①好評 ②概ね好評 ③反響なし ④概ね不評 ⑤不評

<問4 ドギーバッグの利用効果について >

- (1) 生ごみの量 (最も近いもの1つに○)
 ①減った ②少し減った ③変わらない ④少し増えた ⑤増えた

(裏面に続きます。)

